

第2回安城市地区公園基本構想策定委員会 議事録

日時：令和7年3月18日(火) 午後2時～

場所：安祥閣

【出席委員】

伊藤孝紀	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
近藤早映	三重大学大学院工学研究科准教授
	東京大学先端科学技術研究センター准教授
吉武 駿	信州大学大学院総合理工学研究科助教
青木奈美	株式会社ザ・ソーシャル 代表取締役
栗田雅貴	愛知県都市・交通局都市基盤部公園緑地課長
水野正二郎	安城市都市整備部長

【報告】

(1)公園づくりワークショップの開催状況について

【議事】

※議事に入る前に、各委員より地区公園再整備の参考になる事例を紹介いただく

(1)地区公園の将来像について

(事務局) 地区公園の共通テーマの案を事務局より説明

(伊藤会長) 地区公園の共通テーマが4つありますが、この中からひとつに決定するという意味ですか？

(事務局) そうです。共通テーマをひとつ決めていきたいと思っています。

(近藤副会長) 何を根拠に選ぶのか分かりません。また、「緑」の視点が入っていませんが、含めていくべきではないでしょうか。

(伊藤会長) 同感です。「緑」の視点は含めていくべきであると思います。

(吉武委員) 事務局が提示した共通テーマのみを卓上で議論することは望ましくありません。まちの骨格やネットワークなどを含めて議論を進めることが必要だと思います。

(伊藤委員) 都市計画マスタープランや総合計画、緑の基本計画の中の、「公園」や「緑」の位置付けを連携させてまとめていくことが必要だと思います。各要素のレイヤーを重ねていくようなイメージです。そして、公園を原動力に、街に変化をもたらしていくようなまとめになると良いと思います。
なぜ、その公園がその場所に、その施設をもって存在しているのか、ということ整理する必要があります。

(吉武委員) 現在、都市整備部で計画している駅前の整備や公共施設の整備、区画整理事業なども全て反映させてください。その要素が加わることで、例えば生活の中で訪れる場所なのか、観光として訪れる場所なのかなど、各エリアの用途が

見えてきます。

(近藤委員) 都市計画マスタープランで各地区の用途がエリア分けされていると思います。その中で、各地区公園がどこに属しているのかという点と、緑地としての考え方を合わせてまとめると良いと思います。

(伊藤会長) このようにまとめると、事務局が考えるパークマネジメントの要素とエリアマネジメントの要素が我々にも共有できると思います。その上でコンセプトを決めていく必要があります。

(2) 将来像を踏まえたゾーニング・コンテンツ・規模について

(事務局) 各地区公園のゾーニング(案)を説明

(伊藤会長) エリア分けをされていますが、どのようなで内容で分けているのか分かりにくいと感じました。

(事務局) 事務局が考える各地区公園の将来の利用方法について、案を提示していません。

(近藤副会長) そもそも、議題(1)の俯瞰的な計画をまとめた後に考えていく内容であると思います。そのため、各地区公園に対して細かく意見を言うことは控えますが、今後の参考として意見を述べます。

私も会長と同感で、このエリア分けは機能で分けているのか、人の行動で分けているのか、空間の特性として名前を付けて分けているのか不明確であるため、この部分を明確にする必要があります。柿田公園を見てみると、「交流」や「広場」など、名詞や動詞が混在しており、分かりにくくなっています。これを明確にすることで、このエリアは何をする場所であるかが分かるようになると思います。

(吉武委員) いきなりエリア分けをするのではなく、どのように過ごしたいのかをイメージし、決めていく方が良いと思います。行動に適したエリア配置することで、空間の骨格が見えてくると思います。

また、各エリアが定まってきた後は、各エリアが接している部分に着目する必要があります。事務局(案)では、各エリアが明確に分かれているため、連動性が希薄に感じられます。各エリアの繋ぎ方は非常に重要であり、公園内だけではなく、公園とまちの接点も含めて検討した上でゾーニングを設定する必要があると感じました。

(青木委員) 具体的に、各地区公園で一日を過ごす際のストーリーを考えると、各エリアの繋がりも考えることができると思います。ペルソナを設定するイメージです。例えば、説明で「広場エリア」は「普段使いができるエリア」との話がありましたが、「普段使い」がどのようなものを明確にすべきです。

(伊藤会長) 事務局に確認ですが、エリアを分ける必要性を教えてください。

(事務局) 公園の計画を考える上でゾーニングが必要であると認識しています。

- (伊藤会長) P-PFI を行う上で用地を明確にする場合は、エリア分けがあっても良いと思いますが、エリア分けをしたとおりに公園が使われることはないため、現段階では不要だと思います。
- (近藤委員) ゾーニングされた資料を見ると、全て同じコンテンツに見え、どの資料がどの公園なのか分からない状況です。各地区公園に特色を持たせた新しい公園へのリニューアルを検討することが今回の委員会の目的であると思いますので、検討し直すべきであると思います。
- (伊藤会長) 都市計画マスタープランや総合計画のような既存の資料をレイヤーで重ねていくことや、まちの人の過ごし方などを捉えて検討してほしいです。一日公園で過ごして皆さんの動きを見てプロットしてみたり、周辺の店舗や住宅への動きなどをプロットしてみたり、様々なレイヤーがあった方が良いでしょう。
- (吉武委員) 第1回公園づくりワークショップの意見も、もっと共有してほしいです。できるだけ具体的に、小さい情報も全て共有してもらいたいです。
- (近藤委員) 今日の資料は、事務局が何を根拠にまとめたのか分からないため、エビデンスを見せてほしいです。適切なコメントをするためには、背後にある根拠が重要になるため、共有してください。
- (伊藤委員) 今日の委員会は、委員の皆さんからの重要なメッセージであったと思います。真摯に受け止めて進めていくと良いと思います。

以上